

放流効果調査事業・マコガレイ

村松里美・鈴木亮・高橋進吾

目 的

第7次栽培漁業基本計画の技術開発対象種となっているマコガレイについて、陸奥湾（東湾）系群の放流効果を把握するため、放流技術の開発に取り組む。

材料と方法

野辺地町地先周辺に標識を施した人工種苗を放流し、野辺地町漁協に水揚げされたマコガレイについて、外部標識等の有無を確認した。

結果と考察

2021年11月30日から2022年2月10日までの間に、野辺地町漁協に水揚げされたマコガレイ計93尾について標識（腹鰭抜去）の有無を確認したが、2021年度は標識魚が確認されなかった。2015年から継続して腹鰭抜去魚を放流していることから（表1）、引き続き市場調査を行い、放流効果を把握する（表2）。また、2021年は時化などの影響により過去5ヶ年に比べ調査数が少なかったため（表3）、市場調査の頻度を増やす必要がある。

表1. マコガレイ標識放流結果

生産年	放流月日	放流場所	年齢 (歳)	平均全長 (mm)	放流尾数 (尾)	標識部位 (腹鰭抜去)
2015	2017/3/30	野辺地川河口	1	<100	850	有眼側
2016	2017/6/6	野辺地川河口	0	45	3,673	無眼側
2017	2018/10/21	堤川河口	0	64	500	有眼側
2017	2019/7/19	野辺地川河口	1	164	337	無眼側
2018	2020/2/10	野辺地川河口	1	111	1,203	有眼側
2019	2020/6/18	野辺地沖	0	49	1,942	有眼側
2019	2021/2/18	野辺地漁港	1	118	1,894	有眼側
2020	2021/11/12	野辺地川河口	1	106	3,341	無眼側

表2. 生産年ごとの標識魚放流尾数と再捕尾数

再捕年	生産年 放流尾数(尾)	2014	2015	2016	2017	2018	2019
2016		4,500	850	3,673	837	1,203	3,836
2017							
2018				1			
2019			2	9			
2020	1						
2021							
再捕数		1	2	10	0	0	0

表3. 市場調査における調査尾数と標識魚の再捕尾数

調査年	調査尾数(尾)	再捕尾数(尾)
2016	3,260	0※
2017	376	0※
2018	828	1
2019	3,529	11
2020	322	1
2021	93	0

※体色異常(黒化)魚の再捕あり